

名古屋芸大グループ

■学校法人名古屋自由学院

〒481-8502 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
TEL. 0568(24)0311

- 名古屋芸術大学大学院
- 名古屋芸術大学
- 滝子幼稚園
- 名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園

■社会福祉法人NUA

〒466-0047 愛知県名古屋市昭和区永金町1丁目1番地の32
TEL. 052(882)0467

- たきこ幼児園
- たきこ第二幼児園にじいろ
- 愛知保育園
- 幼保連携型認定こども園 森のくまっこ

■株式会社クレアーレ

〒481-0006 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
TEL. 0568(26)3355

- 名古屋音楽学校



名古屋芸術大学 グループ案内

令和7(2025)年－
令和8(2026)年

表紙の作品『苦し紛れのParadise!』
2024年度 卒業・修了制作展 最優秀賞
美術領域洋画コース 2025年3月卒業
若林 凜

History沿革

70年以上の伝統をふまえ、未来へ躍進します。

学校法人名古屋自由学院は昭和27年(1952年)、故水野銈子とし名誉学院長が建学の精神

「至誠奉仕」を掲げて創立した滝子幼児園(現在の滝子幼稚園)を母体として誕生しました。

■学校法人名古屋自由学院

昭和27年(1952年)	4月	名古屋市昭和区永金町一丁目1番地に「滝子幼児園」を開設
昭和28年(1953年)	3月	「滝子幼児園」を「滝子幼稚園」に変更設置認可
昭和29年(1954年)	11月	「学校法人自由学院」設立認可 理事長「水野銈子 とし 」就任
昭和32年(1957年)	5月	「学校法人自由学院」の名称を「学校法人名古屋自由学院」に変更認可
昭和32年(1957年)	7月	名古屋市昭和区永金町一丁目1番地に「名古屋自由学院幼稚園教員養成所」設置認可
昭和38年(1963年)	2月	愛知県西春日井郡師勝町熊之庄に「名古屋自由学院短期大学」設置認可
昭和42年(1967年)	1月	愛知県西春日井郡師勝町熊之庄に「名古屋自由学院 師勝寮(学生寮)」竣工
昭和43年(1968年)	3月	愛知県西春日井郡師勝町熊之庄に「名古屋自由学院短期大学附属第二幼稚園」設置認可
昭和45年(1970年)	3月	「名古屋芸術大学 音楽学部(声楽科・器楽科・音楽教育学科)、美術学部(絵画科・彫刻科・デザイン科)」設置認可

■名古屋芸術大学

昭和45年(1970年)	4月	「音楽学部(声楽科・器楽科・音楽教育学科)」、「美術学部(絵画科・彫刻科・デザイン科)」開設
昭和49年(1974年)	12月	「音楽学部(声楽科・器楽科・音楽教育学科)」、「美術学部(絵画科・彫刻科・デザイン科)」の収容定員の増加に係る学則変更認可
昭和60年(1985年)	12月	「音楽学部(声楽科・器楽科・音楽教育学科)」、「美術学部(絵画科・彫刻科・デザイン科)」の収容定員の増加に係る学則変更認可
平成3年(1991年)	12月	「音楽学部(器楽科)」、「美術学部(絵画科・彫刻科・デザイン科)」の期間を付した入学定員の増加に係る学則の変更認可
平成6年(1994年)	12月	「音楽学部(声楽科・器楽科・音楽教育学科)」、「美術学部(絵画科・デザイン科)」の収容定員(第3年次編入学定員)の増加に係る学則変更認可
平成7年(1995年)	4月	「大学院美術研究科(造形専攻)」開設
平成8年(1996年)	12月	「音楽学部(器楽科)」、「美術学部(絵画科・彫刻科・デザイン科)」の期間を付した入学定員の増加に係る学則の変更認可
平成9年(1997年)	4月	「大学院音楽研究科(声楽専攻・器楽専攻)」開設
平成11年(1999年)	7月	「音楽学部(声楽科・器楽科)」、「美術学部(絵画科・彫刻科・デザイン科)」の収容定員の増加に係る学則変更認可
平成11年(1999年)	7月	「音楽学部(音楽教育学科)」の収容定員の減少に係る学則変更認可
平成13年(2001年)	4月	「美術学部(彫刻科)」を(造形科)に名称変更
平成13年(2001年)	4月	「音楽学部(音楽文化応用学科)」、「美術学部(美術文化学科)」開設
平成14年(2002年)	4月	「デザイン学部(デザイン学科)」開設
平成16年(2004年)	4月	「大学院音楽研究科(音楽学専攻)」開設
平成17年(2005年)	4月	「音楽学部(演奏学科・音楽文化創造学科)」開設
平成17年(2005年)	4月	「大学院デザイン研究科(デザイン専攻)」開設
平成17年(2005年)	4月	「大学院美術研究科(造形専攻)」を(美術専攻)に名称変更
平成18年(2006年)	3月	「美術学部(デザイン科)」廃止
平成19年(2007年)	3月	「人間発達学部」が指定保育士養成施設として東海北陸厚生局長の指定を受ける
平成19年(2007年)	3月	「人間発達学部」が教員の免許状授与(小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状)の所要資格を得させるための大学の学部等の課程として文部科学大臣の認定を受ける
平成19年(2007年)	4月	「人間発達学部(子ども発達学科)」開設

平成元年(1989年)	4月	学校法人名古屋自由学院理事長「川村科子」就任
平成3年(1991年)	12月	長野県木曽郡木祖村に「名古屋自由学院木祖セミナーハウス」竣工
平成17年(2005年)	5月	愛知県西春日井郡師勝町熊之庄に子会社「株式会社クレアーレ」設立
平成18年(2006年)	4月	「師勝キャンパス」を「東キャンパス」、「西春キャンパス」を「西キャンパス」に名称変更
平成21年(2009年)	3月	「名古屋自由学院 師勝寮(学生寮)」閉寮
平成22年(2010年)	4月	学校法人名古屋自由学院理事長「川村大介」就任
平成24年(2012年)	4月	名古屋市中区新栄町に「名古屋芸術大学 栄サテライト」開設
平成24年(2012年)	8月	「名古屋自由学院木祖セミナーハウス」を「名古屋芸大グループ木祖セミナーハウス」に名称変更
平成28年(2016年)	3月	「名古屋芸大グループ木祖セミナーハウス」廃止

平成20年(2008年)	3月	「音楽学部(声楽科・器楽科・音楽教育学科・音楽文化応用学科)」廃止
平成20年(2008年)	4月	「美術学部(美術学科)」開設
平成22年(2010年)	1月	「音楽学部」、「美術学部」、「デザイン学部」、「人間発達学部」が教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の学部等の課程として文部科学大臣の認定を受ける
平成23年(2011年)	4月	「大学院人間発達学研究科(子ども発達学専攻)」開設
平成25年(2013年)	3月	「美術学部(絵画科)」廃止
平成26年(2014年)	3月	「美術学部(造形科・美術文化学科)」廃止
平成27年(2015年)	4月	「音楽学部(演奏学科・音楽文化創造学科)」、「美術学部(美術学科)」の収容定員の変更
平成29年(2017年)	4月	「音楽学部(演奏学科・音楽文化創造学科)」、「美術学部(美術学科)」、「デザイン学部(デザイン学科)」の学生募集停止(ただし、3年次編入学は平成31年4月から学生募集停止)
平成29年(2017年)	4月	「芸術学部(芸術学科)」を開設
		※「音楽学部(演奏学科・音楽文化創造学科)」、「美術学部(美術学科)」、「デザイン学部(デザイン学科)」の入学定員を振替え
平成29年(2017年)	9月	「名古屋芸術大学地域交流センター」を名古屋市中区(納屋橋)に開設
令和2年(2020年)	3月	「名古屋芸術大学地域交流センター」(納屋橋)廃止
令和2年(2020年)	4月	「留学生別科」を開設
令和4年(2022年)	3月	「音楽学部(演奏学科・音楽文化創造学科)」廃止
令和4年(2022年)	4月	「人間発達学部(子ども発達学科)」を「教育学部(子ども学科)」に名称変更
令和6年(2024年)	3月	「デザイン学部(デザイン学科)」廃止

■名古屋芸術大学短期大学部

昭和38年(1963年)	4月	「名古屋自由学院短期大学保育科」開設
昭和41年(1966年)	4月	「文科(国文専攻・英文専攻)」開設
昭和42年(1967年)	4月	「音楽科(器楽専攻・声楽専攻)」開設
昭和43年(1968年)	4月	「保育科」の収容定員の増加に係る学則変更認可
昭和43年(1968年)	4月	「保育専攻科」開設
昭和48年(1973年)	3月	「保育専攻科」廃止
昭和49年(1974年)	4月	「児童教育科」開設
昭和49年(1974年)	12月	「音楽科(器楽専攻・声楽専攻)」の収容定員の増加に係る学則変更認可
昭和53年(1978年)	4月	「児童教育科第二部」開設

■名古屋芸術大学保育専門学校

昭和33年(1958年)	4月	「名古屋自由学院幼稚園教員養成所(昼間部・夜間部)」開設
昭和33年(1958年)	5月	「名古屋自由学院幼稚園教員養成所」が、幼稚園教員を養成する機関として文部大臣の指定を受ける
昭和34年(1959年)	2月	「名古屋自由学院幼稚園教員養成所」が、保育を養成する施設として厚生大臣の指定を受ける
昭和38年(1963年)	4月	「昼間部」の募集停止(名古屋自由学院短期大学の開設へ)
昭和48年(1973年)	2月	「名古屋保育専門学校」が幼稚園教員を養成する機関として文部大臣の指定を受ける(夜間部)
昭和48年(1973年)	3月	「名古屋保育専門学校」が保育を養成する施設として厚生大臣の指定を受ける(夜間部)
昭和48年(1973年)	4月	「名古屋自由学院幼稚園教員養成所」を「名古屋保育専門学校」に名称変更(幼稚園教員専攻コース(第二部)、幼稚園教員・保育専攻コース(第二部))
昭和52年(1977年)	3月	各種学校「名古屋保育専門学校」を私立専修学校「名古屋保育専門学校(教育専門課程)」に切り替え認可
昭和57年(1982年)	4月	「保育科幼稚園教員・保育専攻コース第一部(昼間部)」開設
平成11年(1999年)	4月	「名古屋保育専門学校」を「名古屋保育・福祉専門学校」に名称変更し、「介護福祉科(教育・社会福祉専門課程)」開設

■滝子幼稚園

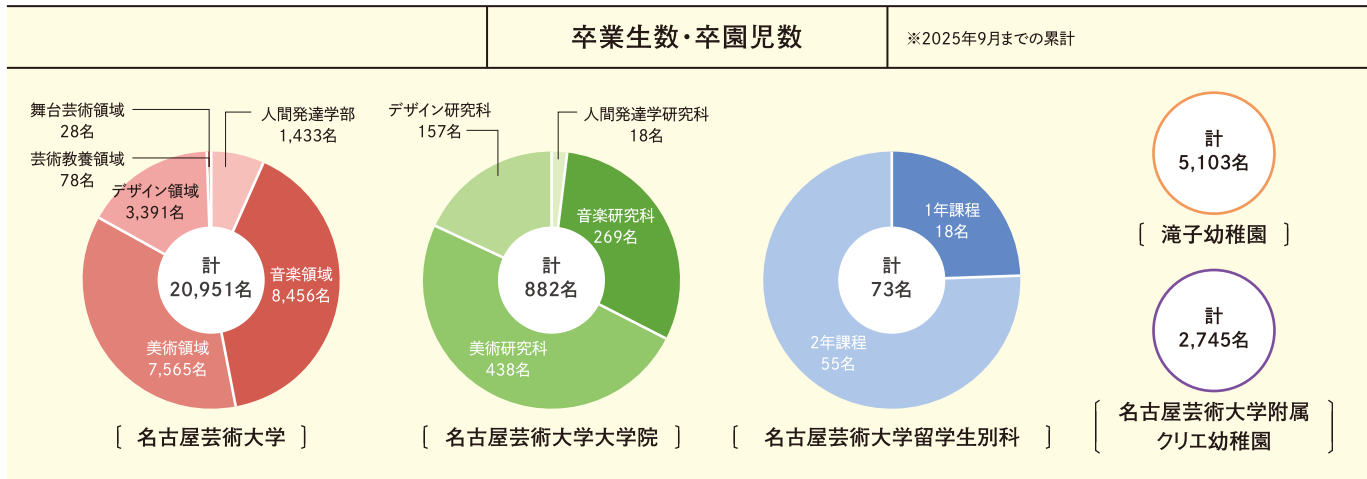
昭和28年(1953年)	4月	「滝子幼稚園」開設
昭和60年(1985年)	3月	「滝子幼稚園」の収容定員の減少に係る園則変更認可
令和7年(2025年)	8月	「滝子幼稚園」新園舎竣工

昭和53年(1978年)	12月	「保育科」の収容定員の増加に係る学則変更認可
平成12年(2000年)	4月	「保育科」及び「音楽科」を男女共学とする
平成12年(2000年)	5月	「音楽科」の収容定員の減少に係る学則変更認可
平成13年(2001年)	3月	「文科(英文専攻)」廃止
平成13年(2001年)	3月	「音楽科(器楽専攻・声楽専攻)」廃止
平成13年(2001年)	3月	「児童教育科」、「児童教育科第二部」廃止
平成13年(2001年)	4月	「名古屋自由学院短期大学」を「名古屋芸術大学短期大学部」に名称変更
平成14年(2002年)	3月	「文科」廃止
平成20年(2008年)	3月	「名古屋芸術大学短期大学部」閉校

平成11年(1999年)	4月	「保育科第二部(幼稚園教員専攻コース)」の廃止
平成12年(2000年)	3月	「名古屋保育・福祉専門学校」が幼稚園教員養成機関として文部大臣の指定を受ける
平成19年(2007年)	3月	「介護福祉科」の入学定員の減少に係る学則変更承認
平成22年(2010年)	3月	「保育科(第一部)」、「保育科(第二部)」が教員養成機関として文部科学大臣の指定を受ける
平成23年(2011年)	4月	「名古屋保育・福祉専門学校」を「名古屋芸術大学保育・福祉専門学校」に名称変更
平成27年(2015年)	3月	「介護福祉科」廃止
平成27年(2015年)	4月	「名古屋芸術大学保育・福祉専門学校」を「名古屋芸術大学保育専門学校」に名称変更
平成29年(2017年)	2月	名古屋芸術大学保育専門学校「教育・社会福祉専門課程保育科」、「教育・社会福祉専門課程保育科(第二部)」が職業実践専門課程として文部科学大臣の認定を受ける
令和3年(2021年)	4月	名古屋芸術大学保育専門学校「保育科(第一部)」及び「保育科(第二部)」の学生募集停止
令和4年(2022年)	3月	名古屋芸術大学保育専門学校「保育科」、「保育科(第二部)」閉校

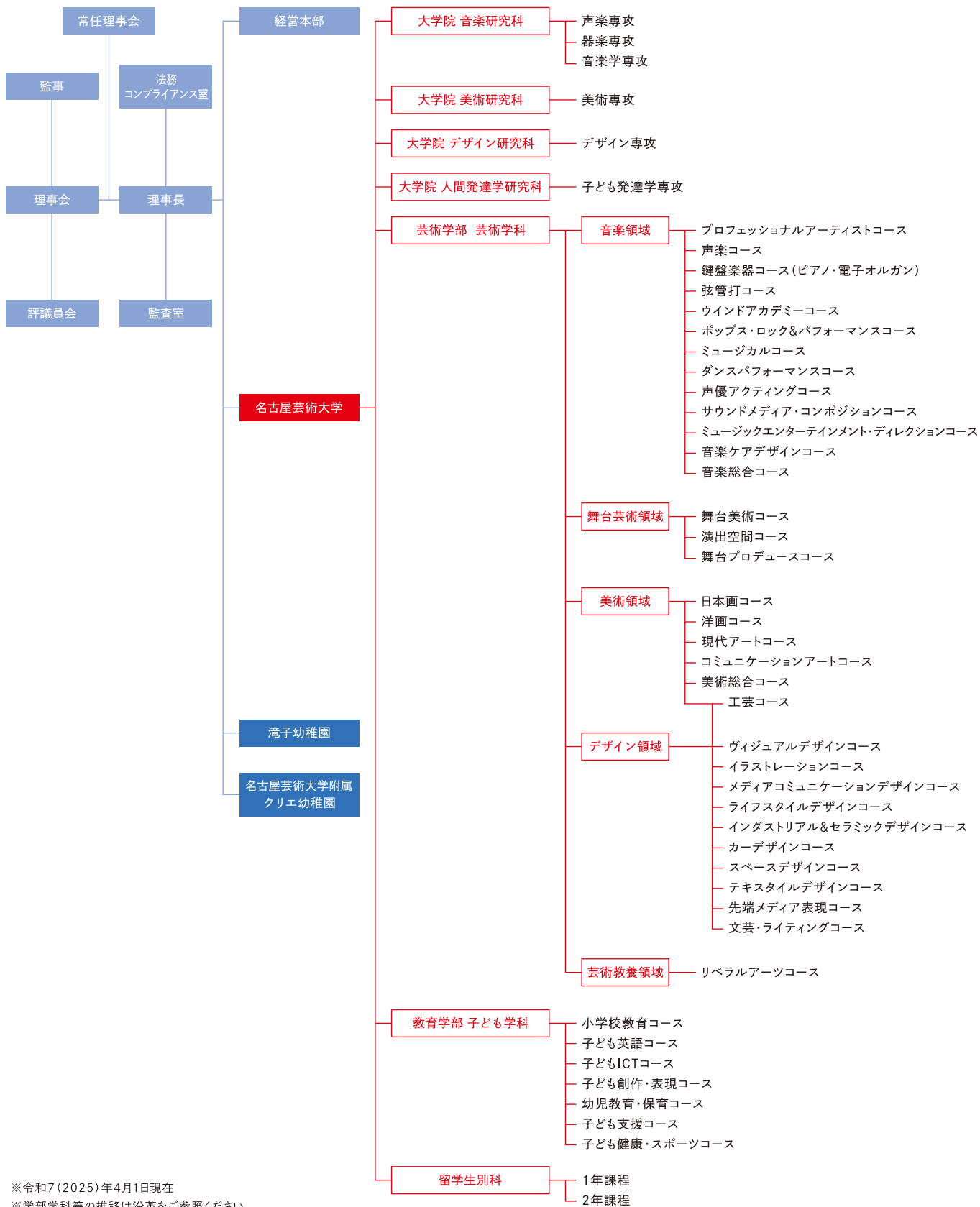
■名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園

昭和43年(1968年)	4月	「名古屋自由学院短期大学附属第二幼稚園」開設
昭和60年(1985年)	3月	「名古屋自由学院短期大学附属第二幼稚園」の収容定員の減少に係る園則変更認可
平成13年(2001年)	4月	「名古屋自由学院短期大学附属第二幼稚園」を「名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園」に名称変更



Organization chart

組織図



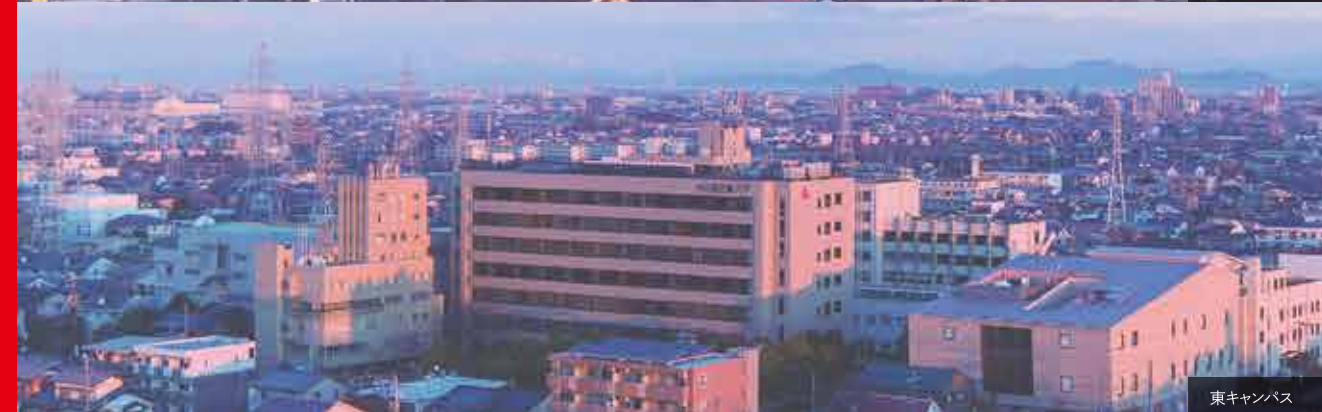
※令和7(2025)年4月1日現在
※学部学科等の推移は沿革をご参照ください

名古屋芸術大学

社会と繋がる大学



西キャンパス



東キャンパス

Message

学長メッセージ



かし なおひこ
学長 來住 尚彦

未来のために

芸術は、自身から湧き出るクリエイティビティによって誰かに幸福を与えられる、とても魅力的なものです。しかし私は、音楽・アートイベントのプロデュースを通して、作品を素晴らしいと感じる思いと作品を手に入れる行為の間には、大きな隔たりがあると感じました。そのため、幸せを体感できる芸術をより身近なものにさせるためにも、その大きな価値を社会に広めていく必要があると決意に至りました。

2024年4月より学長に就任したわけですが、私は芸術大学の教員として学生には社会と接点を持つ

重要性を説いています。例えばアートフェアでは学生の作品を展示・販売することで、学生にアートの価値を体感させたり、社会経済を肌で感じさせたりしています。AI技術が日常生活に参入する昨今、社会に求められるのは感性やセンスの鋭い人です。それらは生まれ持った才能ではなく、知識や経験の蓄積から磨かれるものです。芸術大学で学ぶことで感性やセンス、クリエイティビティを磨き、幸せを呼び寄せる芸術の未来を牽引する成功者になって欲しいと願っています。

Profile

1985年早稲田大学理工学部卒業後、東京放送(現TBSホールディングス)入社。オーディオエンジニア、音楽番組制作を行う。96年TBSが経営するライブハウス「赤坂BLITZ」立上げ、支配人就任。全国ツアー・コンサートのプロデュース、演出を行う。2008年エンターテインメントエリア「赤坂サカス」を立ち上げる。15年TBSホールディングスを退社し一般社団法人アート東京を設立。東京、京都、大阪などでアートフェアを企画、プロデュースする。



芸術学部 芸術学科

音楽領域

芸術学部 芸術学科

舞台芸術領域

芸術学部 芸術学科

美術領域

芸術学部 芸術学科

デザイン領域

Feature 特徴

1

自分と音楽の
関わり方を見つける

「音楽とともに、一生を幸せに生きること」。これが、名古屋芸大の音楽領域が目指していることです。演奏表現、ステージ制作、楽曲提供、緩和ケアなど、音楽でつくる幸せな生き方には様々な形があり、自分に合った音楽との関わり方を模索します。

2

様々なポジションを体験し
自分をプロデュースする力を身につける

学内外問わず多数のイベント・演奏会に参加できる機会が用意されています。社会のどの部分に、どのように貢献するか。それを理解し、発信できるセルフプロデュース力を実践的に養います。

3

名古屋芸大発の、世界にオープンな
音楽コミュニティ

学生、教員、OB・OG間でのつながりが強く、卒業後も継続して関われる「音楽コミュニティ」が形成されています。卒業後は、一緒に仕事を作ったりプロジェクトを発足するなど、共同活動が行われており、音楽と関わる場所としても機能しています。

Feature 特徴

1

視野が拡大する
「舞台・ファンデーション」

舞台公演は、多くの人々の多様な力が結集されてはじめてできあがります。舞台芸術領域では、1年次に基礎(知識・技術)を養い、視野を広げるための領域共通カリキュラム「舞台・ファンデーション」を導入しています。

2

劇場に足を運び、
プロの現場で学ぶ

県内・県外問わず劇場に足を運び、プロが利用する機材等を自分の目で確かめます。また、現場で働かれている方々と接し、知見を深めることで視野を広げます。各劇場の特徴や違いを実感し、自身の制作に存分に反映させていきます。

3

実社会で生きる能力、
他者を理解する力

舞台芸術領域で培うのは自分自身の役割とともに、他のメンバーの考えや意志、また舞台公演を鑑賞する人の気持ちを理解する力です。4年間の学びによって、社会での「生きる力」を培い、誰かの人生をより豊かにする能力、そして未来をより明るくする姿勢を身につけます。

Feature 特徴

1

一人一人の
アトリエスペース

アトリエスペースが常にあることにより、落ち着いて、時間を気にせず制作に集中することができます。工房施設とアトリエスペースを有効活用しながら、自身の表現を模索し作品を生み出していくことで制作意欲が存分に満たされます。

2

新鮮な感動
「アート・ファンデーション」

基礎教育を通して、自分が専門的に学ぶ分野だけでなく、デッサン、日本画、油絵、彫刻、工芸、版画などといった、美術の様々な分野の技法や素材に触れることで、基礎的な造形力を養い、表現の可能性をさらに広げます。

3

多彩な外部講師、多くの連携事業、
学内外での企画展

様々なジャンルから招かれる外部講師陣の講義によって、個々の表現の幅は格段に広がります。展覧会や連携事業など学外での活動機会も数多く企画されるため、モノを作り上げていく喜びを体感しながら、広い視野と思考を得ることができます。

Feature 特徴

1

デザインは社会の
どこに存在している?

答えは“全てに存在している”です。デザイン領域では一人一人の「思考」と「技術」を育成し、さらに大学での学びを産官学連携プロジェクトによって、実際に学外で起こっている課題や要求と結びつけ、社会に活きるデザインへと育てていく方法を学びます。

2

基礎固めと視野拡大
「デザイン・ファンデーション」

いろんな分野のデザインを知り、それらを統合する能力が、今のデザイン業界では必須となります。デザインの様々な基礎を実際に体験し、あらゆるデザイン分野を横断。既成概念を一度壊し、より広いデザインの世界を知ります。

3

力になる豊富な
産官学連携

地元・名古屋を中心とした産官学連携プロジェクトを積極的に実施しています。他者と協力し課題を解決していくプロセスを段階的に学修することで、世界を視野に入れながら、デザインの力を磨いていきます。



芸術学部 芸術学科

芸術教養領域

教育学部

子ども学科

Feature 特徴

1

教養の必要性

今は決められた「解」が存在しない時代のため、既存の枠組みから問題を解くのではなく、自ら問題を設定し「新しい解」を見出す力が求められています。「教養」は自らの能動性をより推進させ、未来に必須の新しい思考体系を生む一助となります。

2

5つのリテラシー

ビジネス現場では、依頼者側と制作者側といった、点と点を調整できるハブとなる存在が重要視されています。そのため芸術教養領域では、ビジュアル、サウンド、情報、英語、日本語と、芸術に関する5分野の専門性を学び、調整力を養います。

3

情報をきちんと見極める

誰もが発信者になり、情報を簡単に入手できる時代です。そのため多角的な知見を基に、自らの手で正確に物事を見極め、判断できる能力が求められます。クリティカルシンキングを養うためにも、レポートにより自らの思考を確立させる力を養います。

Feature 特徴

1

感性が磨かれる 芸術に囲まれた環境

子どもを支えるためには、観察力が必要です。観察力が身につくと、教員や保育士として自分に必要なものも見えてくるようになります。そこには芸術に囲まれた感性が磨かれる環境が大変有効です。

2

自分と向き合う 「子ども・ファンデーション」

大学入学後は、ただ「教員・保育士になりたい」から「どんな教員・保育士になりたいか」を考える時期です。名古屋芸大では1年次の基礎カリキュラム「子ども・ファンデーション」を通して自分と向き合い、2年次以降のコース選択に繋がります。

3

7つのコース選択

現代の子どもたちを取り巻く多様な課題に向き合うため、教育学部子ども学科では「小学校教育コース」「子ども英語コース」「子どもICTコース」「子ども創作・表現コース」「幼児教育・保育コース」「子ども支援コース」「子ども健康・スポーツコース」の7コースを設置。教育・保育現場で求められるスペシャリストを目指します。

大学院

大学を卒業後、さらに専門性を深めたい、技術を高めたい人のために大学院(修士課程/2年)を設置。プロフェッショナルを目指す人、専門的な知見を持って社会に働きかける人など、それぞれの描く将来へのプロセスとして、深く本質に迫り、グローバルな研究を重ねていくことにより、各専攻分野における高い専門性と総合的な考察力を身につけた人材を育成します。

人間発達学 研究科

子どもたちは日本社会の未来を担う大きな力。本研究科では、少子高齢化の進む日本における幼児・初等教育の本質的意義、教育内容および発達支援に関わる教育研究を開発。実践力と指導性を高め、人間力を兼ね備えた専門的職業人の育成を目指します。

美術 研究科

専門能力を高めながら、美術を通じた歴史観を深めます。制作を中心とする3つの研究領域と、理論を中心とする1つの研究領域で構成。自主的にテーマを設定し、どれだけ自身の表現として追求することができるか。新たに挑戦し続ける姿勢を期待しています。

音楽 研究科

芸術としての音楽の高度な専門性を探求し、その創造的発展に寄与できる音楽家の養成を目指します。声楽・器楽専攻分野ではより豊かな表現力と高度な演奏技術を身につけ、音楽学専攻分野では、研究を重ねながら総合的な実践力と考察力を修得します。

デザイン 研究科

学士課程での学びをふまえ、より高度な専門知識と技術の習得を目指します。日本や地域についての確かな視点を持ちながらグローバルに活躍できる人材を育成。修得した専門性が発揮できる場を自らつくり、広く社会に貢献していく実行力を養います。

名古屋芸術大学留学生別科

名古屋芸術大学留学生別科は、名古屋芸術大学への進学を希望する外国人留学生に対して、日本語・日本事情教育、芸術教育を行うことを目的として、2020年4月に開設されました。将来、芸術分野(音楽、舞台芸術、美術、デザイン、芸術教養)や子ども教育の分野において、母国と日本との懸け橋となる人物を輩出することをめざします。

■教育の特徴

名古屋芸術大学留学生別科で学ぶ利点は、名古屋芸術大学のキャンパス内で学ぶことができるため、大学内の各種施設が利用できることにあります。また、名古屋芸術大学への進学を見据えて日本語教育や日本事情教育だけでなく、音楽の実技レッスンや美術・デザインのデッサン等の実技を取り入れた科目である「芸術」も開講します。

■年間スケジュール

前期	
4月	入学式／オリエンテーション／歓迎会／授業開始
6月	日本留学試験(EJU)
7月	日本語能力試験(JLPT)／期末テスト／季節行事
8月	夏休み
9月	校外学習
後期	
10月	授業開始
11月	芸大祭／日本留学試験(EJU)
12月	日本語能力試験(JLPT)／冬休み／季節行事
1月	季節行事／期末テスト
2月	修了者交流旅行
3月	修了式

■修業年限・募集定員(入学時期)

1年課程 … 20名(4月)
2年課程 … 20名(4月)

TOPICS

別科生の日本文化体験

日本に留学して間もない別科生が日本特有の文化を体験できるイベントを行っています。どの回も初めての経験で、大きな歓声と笑顔に溢れています。



▲浴衣着付け体験



▲書初め



▲奈良公園



▲作品展の開催(留学生別科展)



▲音楽



滝子幼稚園

滝子幼稚園は、
新しく生まれ変わりました。

新園舎竣工式（令和7年8月5日）



神事



テープカット



記念懇親会



記念黒板アート 園長作

その子らしさが輝き出す。
自立心がまっすぐ伸びる。

滝子幼稚園は「一人ひとりの個性を大切にしたい豊富な生活体験により、その子らしい考え方や取り組みを実現していく過程を大切にする」を長年、教育理念として掲げています。そして、自分のことを自ら行うことができる子、自分のやりたいことを自ら決めることができる子、勇気を出して自ら挑戦することができる子、仲間のために自ら行動することができる子を目指す子ども像として設定し、子どもたちの「自立」を促し、自分を好きになれる子を育てる教育活動を展開しています。

令和7年8月5日に新園舎竣工式を挙行し、新園舎での活動を進めています。



滝子幼稚園
〒466-0047 名古屋市昭和区永金町1-1-15
TEL. 052-882-0464

MAP 園内マップ



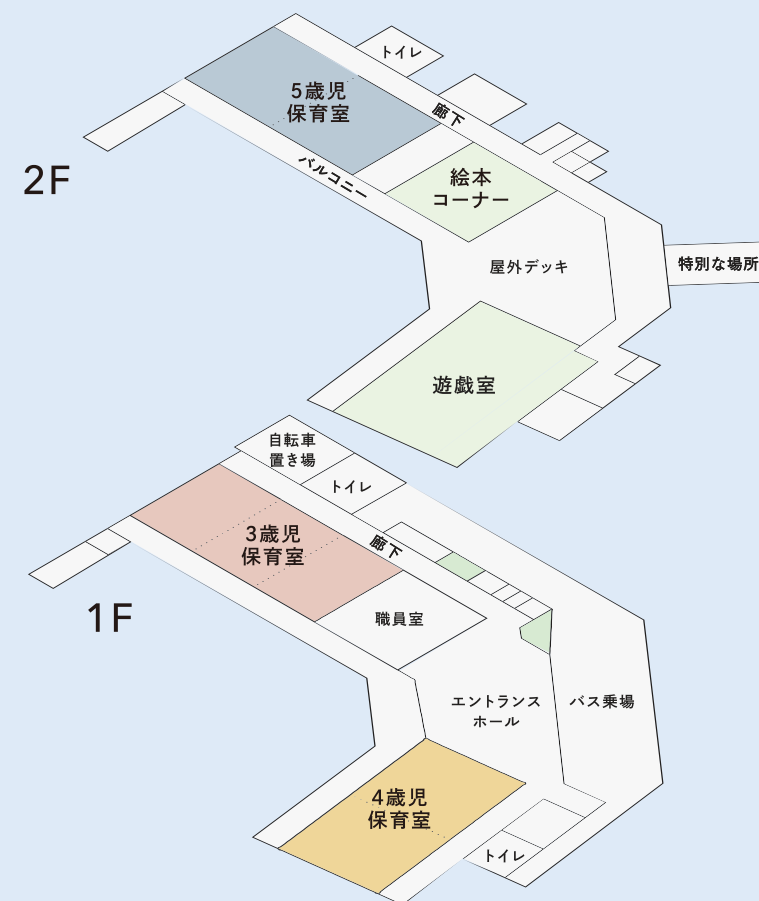
エントランス バス乗場



園庭 大型遊具



保育室



絵本コーナー



遊戯室

電動式舞台



屋外デッキ



名古屋芸術大学附属

クリエ幼稚園



みんなで創り上げる喜びを 楽しめる幼稚園

クリエ幼稚園の名前の由来は「クリエイト=創造する喜びに満たされた子どもの生活の場」にあります。この趣旨を踏まえ、計画的な教育活動と子どもたちの発想を生かした活動とを組み合わせ、自分の頭を働かせ、体全体で働きかけて物事を発見したり感じ取ったりする力を伸ばし、次代を拓くにふさわしい「明るく聡たくましい」子に育つように努めています。そして、恵まれた周囲の自然環境、広い園庭、大学や地域との連携を活用して、幼児の可能性と個性を育み広げています。また、愛園会(保護者会)活動に加え、「サポーターズ」活動が盛んで、保護者も楽しく参加できる教育活動も展開しています。



名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園
〒481-0006 愛知県北名古屋市熊之庄射矢重95
TEL. 0568-24-0324

グループ園・関連校等

学院グループ間の連携を強化させ、
教育・研究のさらなる発展に努めます。

▶ グループ園



たきこ幼稚園 (社会福祉法人NUA)

たきこ幼稚園は、平成26年4月1日に名古屋芸術大グループ、社会福祉法人NUAの保育園として開園しました。「輝く瞳であそび、よく笑い、仲間の中で自立と協働の力を身につけた子どもたち」を保育目標に、一人一人を大切にしたい保育をしています。園の特色として、モンテッソーリ教育とリズムあそびを保育活動の柱としています。毎日の生活をととして、子どもたちが年齢にあった自立と自律を獲得していくために良い環境を整えられるよう取り組んでいます。



〒466-0047 名古屋市昭和区永金町1-1-32
TEL. 052-882-0467

▶ グループ園



愛知保育園 (社会福祉法人NUA)

愛知保育園は名古屋市中川区愛知町にある歴史ある園ですが、新たに社会福祉法人NUAが平成29年4月より運営しています。モンテッソーリ教育の考え方を取り入れた保育をしていて「子どもは自ら成長する力を持っている」という理念に基づき、子どもが自分で選び、考え、学ぶことを大切にする教育法です。今の保育に適した子ども主体の保育を実践しています。



〒454-0807 名古屋市中川区愛知町30-20
TEL. 052-351-7014

▶ 関連校



名古屋音楽学校 (名古屋芸術大学 栄サテライト)

名古屋音楽学校は、1948年(昭和23年)4月に創立された音楽学校で、幼児から成人まで幅広く教育を行い、技能の習熟はもとより、音楽を通して情操の向上、明るさ、豊かさ、ゆとりと和にみとづく音楽の生涯教育を目指しています。本校において名古屋芸術大学が主催する公開講座等の開催や、パリ・エコール・ノルマル音楽院と日本で唯一提携している本校を通じた留学指導など、双方の教育財産を活用し、地域における音楽文化の向上と発展に一層推進してまいります。



〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-9 スカイオアシス栄 地下1階
TEL. 052-973-3456

▶ 教育施設 (パリ アトリエ)

シテ・インターナショナル・デ・ザール Cité Internationale des Arts

パリの中心部、シテ島、サン・ルイ島を臨むセーヌ川沿いに、世界の芸術家のための活動・研究滞在施設(アーティスト・レジデンス)通称「シテ・デ・ザール」と呼ばれる施設があります。周辺にはルーブル美術館やコンサートホール、オープンカフェが立ち並ぶ芸術家たちの憧れの地。本学では、国際人材を育成するため、学生、卒業生、教員の皆さんに広くご利用いただけるよう芸術の交流の場を提供しています。



Location: 18 rue de l'Hôtel de Ville, 75004 Paris
(Paris 4e Arrondissement Paris Île-de-France)
TEL.+33(0)1 42 78 71 72

▶ グループ園



たきこ第二幼稚園にじいろ (社会福祉法人NUA)

たきこ幼稚園の保育を引き継ぎ令和5年4月に認可保育園として開園しました。保育方針としてモンテッソーリ教育とリズムあそびを導入し、子どもたちが自ら考え行動し、成長していく環境を提供しています。保育者は子どもの気持ちを尊重し、やりたくない日は無理強ひしません。にじいろでの生活を通して、子どもたちが自分を信じ、周りの人も信じられるそんな人間に育っていくことを願っています。



〒466-0055 名古屋市昭和区滝子通3-24-1
TEL. 052-884-7433

▶ グループ園



幼保連携型認定こども園 森のくまっこ (社会福祉法人NUA)

幼保連携型認定こども園 森のくまっことは、北名古屋市初のこども園として令和2年4月に開園しました。名古屋芸術大学グループとして、音楽の生演奏や造形教室など、感性を豊かにする取り組みを行っています。「たのしむを探して挑戦し、生きる力を育てる」を園の理念に掲げ、自然豊かな環境に囲まれながら、自分らしく、遊びを通して生きる力を育むために、子どもたちと向きあっています。



〒481-0006 北名古屋市熊之庄城ノ屋敷2930
TEL. 0568-26-0130

▶ 関連会社



株式会社クレアーレ

本学院が100%出資して、平成17年(2005年)5月に子会社を設立しました。名古屋芸術大学、滝子幼稚園、および名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園の学生・園児の充実した就学ができるよう、様々なサポートを事業としています。主な事業内容は、「名古屋音楽学校の運営・管理」「物品販売業」「保険代理店事業」「施設の貸出

業務」「音楽教室の運営」「各種演奏会・公演の企画、運営管理」などです。今後は芸大の子会社としての特性を生かしたユニークな事業展開をしていきます。

〒481-0006 北名古屋市熊之庄古井281
(東キャンパス12号館6F)
TEL. 0568-26-3355



Message

理事長あいさつ

理事長 川村 大介

学校法人名古屋自由学院は、昭和27年(1952年)4月に開園した「滝子幼稚園」(現在、滝子幼稚園)を母体とし昭和29年(1954年)11月に学校法人となりました。

創設者故「水野銈子」名誉学院長は、教育者としての体験から、人間の成長における幼児期の教育の重要性を痛感し、理想とする幼児教育のため幼稚園、次いで幼稚園教員養成所を設立し、幼稚園教諭及び保育士の養成に尽力しました。

更に、教育の根幹に関わる部分での芸術の重要性に対する深い洞察力をもって、昭和45年(1970年)に私立大学では日本で最初の芸術系総合大学として「名古屋芸術大学」を設立しました。

水野名誉学院長は、建学の精神に「至誠奉仕」を掲げ、今もなおその真髄は脈々と本学院に継承されています。その意味するところは、「人間性の不断の陶冶」という謙虚な姿勢を持ち、

「豊かな感性」により獲得できる他人への思いやりや物事を見抜く力を得て、社会に貢献できる「創造力に富んだ人材」を育成することであり、本学院の教育の理念となっています。高度に科学技術が発展し、グローバル化した世界経済が相互に緊密化・複雑化した現代だからこそ、人間性に根ざした本学院の教育の理念は重要性を増していくものと確信しております。

大規模な教育機関ではなかなか難しい「個性を尊重」した指導は、芸術にベースを置いた本学院の得意とするところです。若い学生などの溢れるばかりの「創造性」から更に磨きをかけて、自分を大切にすると同じように他の人々を大切に思う「豊かな感性」を磨き、社会に積極的に関与し奉仕するスキルと心をもった人材を育成することが、本学院の社会的な使命であると考えています。

建学の精神

学校法人名古屋自由学院の将来ビジョン

至誠奉仕

ゲイジュツのちから

- 教育・研究**
 - 新教育組織の確立
 - 学院グループ間の連携強化
 - 芸術と教育の新たな関係の模索
 - 伝統的に確立してきた技法を踏襲しつつ、先端的芸術を開拓
- 社会貢献**
 - 「ゲイジュツのちから」による地域振興・情報発信
 - 「ゲイジュツのちから」を養成する人材の育成
 - 芸術的・創造的イノベーションを生み出す
 - 国際化の推進を実行する
- 経営の安定**
 - 「リボーン名芸」の推進
 - 学生定員数確保
 - 外部資金獲得
 - 施設設備等教育環境の整備



Access

アクセス

